



「日本一の子育て応援システム」をさらに充実

仕事と子育ての両立を支援

共働き率や女性の就業率が全国トップレベルの福井県。男女関係なく、働きながら、子どもと過ごす時間を確保できる職場環境の整備を進めています。

この一環として、働く人と経営者が協力して、時間外労働の削減や、男性の育児休業の取得を奨励するなど、仕事と子育ての両立を実践する「両立支援宣言企業」の取り組みを応援してきました。

また、出産、学校行事に合わせた休暇取得や、ノー残業デーの設定など、特に父親

国内で少子化が進む中、本県の合計特殊出生率（女性が生涯に産むと考える子どもの人数）は全国上位を維持しており、全国に先駆けた本県独自の育児サービスが、国や他の県でも導入されるなど、福井県は「子育て先進県」として注目をされています。県では、結婚から出産、子育てといったライフステージに応じた、きめ細かい「日本一の子育て応援システム」をさらに充実させています。

が子育てしやすい職場環境づくりを進める企業を「父親子育て応援企業」として、毎年表彰し、経営面でも支援しています。

さらに、昨年度からは、全国で初めて、従業員が在職中にもつことが見込まれる子どもの数を「企業の合計特殊子宝率（企業子宝率）」として調査。今後も調査を行い、その数値が高い企業を「子育てモデル企業」に認定して、育児支援の取り組みを広く情報発信していきます。

こうした企業の社名や活動内容などは、県ホームページや冊子で紹介しています。参考となる情報が満載ですので、ぜひ一度、ご覧ください。

安心して預けられる環境を整備

育児中に、家族の通院や急な用事で、安心できる場所に半日でも子どもを預けた。多くの保護者が経験したことがあるのではないのでしょうか。

このため、県では、全国で初めて、NPO法人やシルバー人材センターなどが行う、一時預かりなどの利用料を補助する「すみずみ子育てサポート」を開始。現在、30か所を超える事業所で安価に利用することができます。また、事業所によっては、保育所などへの送迎や、家事支援のサービスも行っています。さらに、小学生の放課後の



急な用事の際も安心して子どもを預けられる「すみずみ子育てサポート」

居場所となる「放課後子どもクラブ」については、希望するすべての子どもが利用できるよう、市や町の整備を支援しています。

子どもの病気やけがをサポート

子どもが小さい時は、何か

と病気やけがの機会が多いものです。

そこで、県では、平成16年度から全国に先駆けて、大切なお子さんを一時的に病院や保育所で預かる「病児ケア」を開始。看護師や保育士などの専門スタッフを常時配置し、対応しています。

また、夜間や休日に、子どもが急に具合が悪くなった場合のサポート体制も充実させています。

家で様子を見続けていれば良いのか、それとも病院に行った方が良いのか、こうした保護者の不安を解消するため、症状別の救急ガイドブック「こんな時どうする？子どもの急病・ケガ知っておきたい対処法」を、県小児科

医会と連携して作成。県のホームページで公開しています。

加えて、夜間や休日に、専任の看護師が電話で相談に応じる「子ども救急医療電話相談」を設けています。

さらに、夜間における重症の小児救急患者については、各地の公立病院などで、曜日ごとに輪番体制での診療を実施しているほか、「県こども急患センター」を設置し、夜間や休日において、小児科医による診療が受けられる体制を整備するなど、子どもの救急医療システムを充実させています。

- ①子ども救急医療相談
電話番号「#8000」
(または☎0776-25-9955)
月～土/19時～23時
日・祝/9時～23時
- ②県こども急患センター
福井市城東4-14-30
(福井市休日急患センター内)
☎0776-26-8800
月～土/19時～23時
日・祝/9時～23時

子育て家計を応援

子育て中の家庭は、何かと

「家族時間」を伸ばそう

子育て中の家族が、一緒に過ごす時間を大切にすることで、「家族時間」を伸ばす活動にも力を入れています。家庭が「憩いの場、教育の場、明日への力を生み出す場」となるよう、県では、毎月第3日曜日を「家庭の日・家族ふれあいデー」として、家

族みんなで過ごすことを推奨しています。県では、3人目からの子どもが3歳になるまでの保育料や病児デイケア、一時預かりの利用料を原則として無料化する「3人っ子応援プロジェクト」を実施しています。

族みんなで過ごすことを推奨。この日に、県立文化施設の常設展などを無料開放し、親子で利用しやすいようにしています。

また、毎日の仕事や家事に忙しいお父さん、お母さんが、子どもと一緒に朝食を食べたり、子どもの通学時間に合わせて出勤するなど、朝時間を活用する「おはよう！からはじめる家族時間」運動を推進。加えて、各地のイベント会場で、簡単な工作や遊びを親子で体験する「親子遊び塾」を開催しています。さらに、今年度から新たに、仕事と家庭の両立を進め、家族時間を増やすため、定時退社を実践する「みんなで帰ろう『家族時間デー』」を実施しています。

地域全体で育児を応援

県では、「子育てマイスター」制度を全国で初めて創設し、現在では、保育士や助産師等の資格を持つボラン



お父さん、お母さんの力強い味方「子育てマイスター」

ティア約500名が、各地の子育て支援センターや公民館、児童館で、育児相談の活動を行っています。マイスターは常時募集していますので、子育てを応援したい方は、ぜひご登録ください。

子育ては、家庭だけでなく、地域全体でサポートする機運づくりが重要です。皆さんには、周りの育児活動への積極的なご参加をお願いします。

☎子ども家庭課
0776-20-0341
ふくいエンゼルねっと 検索

知事コラム



福井県知事 西川 一誠

これまで、福井県は、高い夫婦の共働き率に対応し、三世同居世帯が多いといった特性を活かしながら、全国に先駆けた育児施策を展開し、「子育て先進県」として注目を集めてきました。

また、今年度は新たに「県幼児教育支援センター」を開設し、保育所・幼稚園と小学校をつなげ、家庭の教育力を高めるための研修などを本格的にスタートさせました。

福井の未来を担う子どもたちは、まさに「地域の宝」にほかなりません。

今後も引き続き、家庭や企業、学校、住民など、地域ぐるみで「日本一の子育て応援システム」を充実させ、子どもを産み育てやすい福井県にしていきたいです。